

「ありがとう」と言える自分

まぐまぐ殿堂入り・日刊メールマガジン

「今日のフォーカスチェンジ」第2296号

(2010年2月10日発行)より

——もしも、人生が今日終わるとして、どんなことばを残したいですか？

もしも、そう問われたとしたら、あなたはなんとこたえますか？

言いたいことはたくさんあると思います。伝えたいことばもいろいろあると思います。でも、もしも「たったひとつだけ」と言われたとしたら？

やっぱり、残るのは、「ありがとう」しかない、私は思うのです。(辞世の句を用意しているかたは、そのかぎりではありませんが♪)

それは、もちろん、実際に、お世話になったひと、ときには、苦楽をともにした、大切なひとたちへの思い、ということもあるでしょう。でも、「ありがとう」には、それ以上の意味がこめら

れているのではないかと、私は思うのです。

それは、誰かに「ありがとう」と言える自分で、人生を終えること…。

どういうことかという。「ありがとう」と、誰かに言えるということは、誰かに何かをしてもらった、という前提が必要

ですよ。ね。「ありがとう」と言いたくなるようなことをしてくれる相手が、存在するということですよ。ね？

「ありがとう」と言いたくなるようなことをしたくなる相手として、あなたが存在しているということですよ。ね？

(あ、ちょっとややこしい？)

そこには、ひととひとのつながりがあります。自分はひとりぼっちじゃないことが、感じられます。「ありがとう」って、そういうことばだと思うんです。

「ありがとう」と言えることは、誰かと、こころをかわすかかわりが存在したあかし。自分がこの世に生きて、つながりあっている誰かがいるという、し

るし。

この世の終わりに、最後の最後に、たったひとつのことばを選ぶとしたら…。あちらには、かたちあるものは、何ひとつもっていくことはできないけれど、たったひとつだけ、もっていくことができるもの。

それは、「思い」。「思い」をあらわすのは、ことば。その思いのことばが、「ありがとう」。「ありがとう」って、そういうことばだと思うのです。

そしてね。「ありがとう」って、言ってしまうと、不思議なことに、ぜーんぶ、チャラになるんです。腹が立ってたことも、ゆるせなかったことも、心残りだったことも、ぜーんぶ、チャラ♪(笑)だから、すべてをすっきり終わらせて、旅立つことができるんです。

ついでに。上級編♪ この「ありがとう」は、こんなふうにも使えます。

「学ばせてくれて、ありがとう」

「体験させてくれて、ありがとう」

「チャンスをくれて、ありがとう」

どんなに感情を揺さぶられたことにたいしても、「ありがとう」が言えちゃいます。

そしたら本当に、超えられないものはなくなっちゃいますから♪ ね、ちゃんと成仏できそうでしょ？(笑)

あなたの、私の、すべてのひとの人生を、「ありがとう」と、しめくくることができますように。あなたの、私の、すべてのひとの毎日を、「ありがとう」で、満たすことができますように。

今日、このメッセージを、あなたに届けられることを、うれしく思います。

ありがとう♪

●日刊メールマガジン「今日のフォーカスチェンジ」(かめおかゆみこ編集・発行)は、2003年11月1日創刊。2009年4月、2000号達成。3秒で読める携帯版もあり。無料講読は「かめわざ快心塾」から♪

<http://kamewaza.com/>